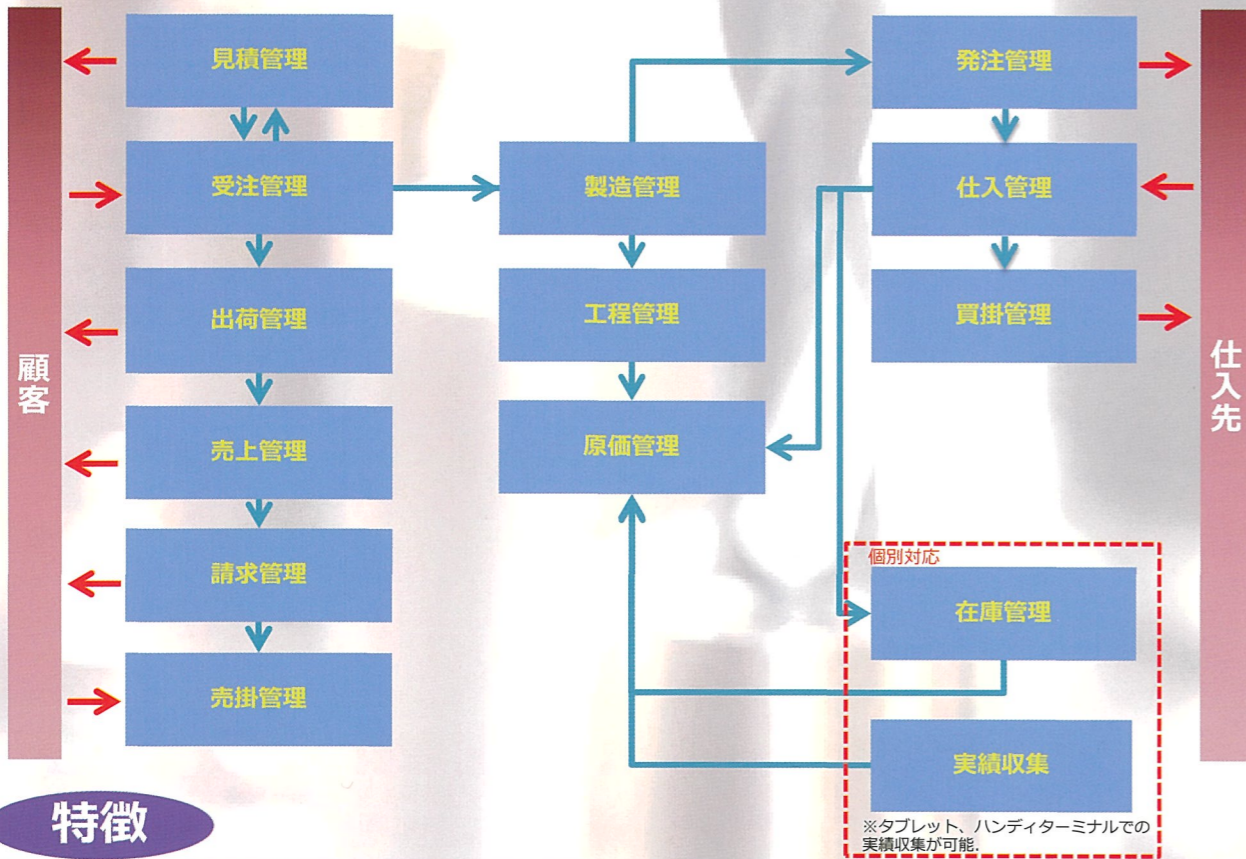


システム関連図



特徴

業種に特化した機能

- 見積から受注、生産計画を過去の 実績を流用して作成できるため、作業の業務効化を図れます。
- 負荷状況を工程別・機械別・人員別に見える化し、顧客からの厳しい納期交渉時に有効に活用できます。また、ドラッグ&ドロップの機能で負荷の山崩しが可能です。
- 製造現場への的確な製造指示(指示書発行)により生産性を向上します。
- 得意先からの受注データ(EDI)をシステムにデータ移入が可能。受注入力の負担を軽減します。
- 原価をタイムリーに把握することで、経営者の意思決定が迅速に行えます。
- 添付資料管理機能で図面、添付資料すばやく表示できます。

販売管理機能

- 業種に特化した販売管理機能を備えており、業種特有の処理に対応可能です。

段階的導入

- スタンドアロンからLAN・WANといった企業成長に合わせたレベルアップが可能です。

フリークライアントライセンス

- 業務拡張及びクライアントPC追加に伴う導入コストの削減が可能です。

効果

■ 日々の仕事をスピーディーに!

データを一元管理することで、作業ミスが減り、二度手間が無くなります。日常の業務の中で、「毎月同じことを繰り返している業務」「紙やEXCELで管理している業務」「あちらこちらからの資料を見ながら計算に掛かっている業務」などは、業務をシステム化することにより、業務効率が格段に上がります。煩雑だった粗業が標準化され、手作業や複数の資料から数字を集めてきて、集計したりすることがなくなり、照会機能の活用等により売上/原価などもリアルタイムに把握することができ、更なる効率経営を実現します。

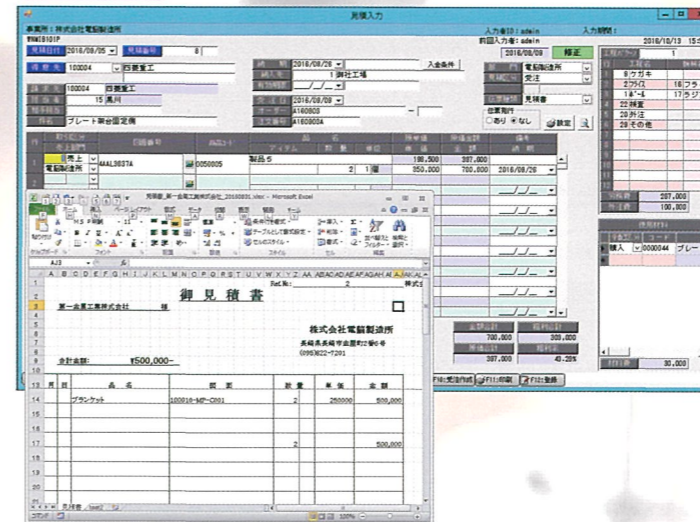
■ 日常業務の標準化を実現!

システムを導入すると誰がどんなデータを入力し、出力するのかがシステムにより規定されます。社員の個人的な能力で業務が動き、その人がいなくなると業務が停滞するといった事がなくなり、業務を標準化することができます。

■ 経営判断のための情報を迅速に把握!

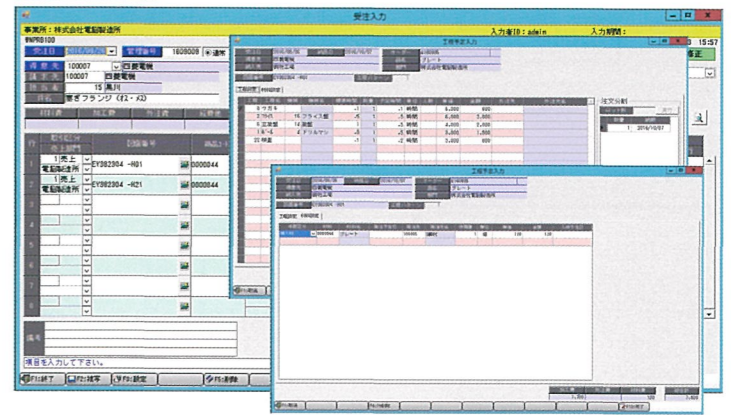
日々の受注状況や作業状況を数値化し、迅速に取り出すことができるため、異常値やボトルネックを早期発見できます。また数字情報をリアルタイムで共有することで、社員の意識向上につなげることも可能です。

見積入力



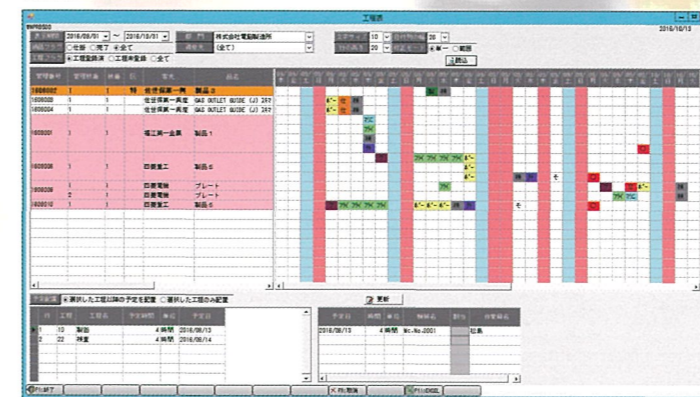
- 図面毎に各工程の加工費、材料費、外注費の予定原価の登録が可能。
- 見積書はお客様独自で作成したEXCELに出力可能。
- 受注から見積書への展開が可能。

受注入力



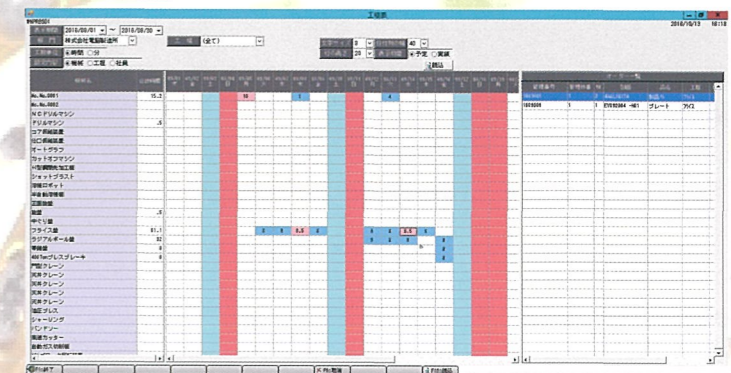
- 見積書から工程の加工費、材料費、外注費のデータを連動。
- オーダーの分割機能を搭載。生産ロット毎に工程を分割することが可能。

工程登録



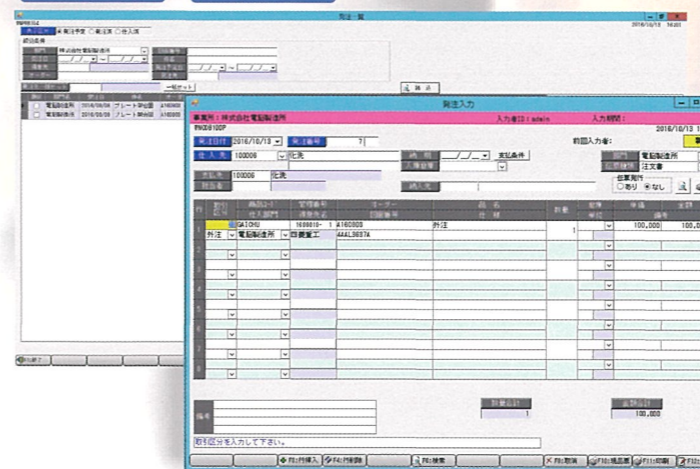
- ドラッグ&ドロップによる工程の配置。
- EXCEL形式で工程を確認。

稼働負荷



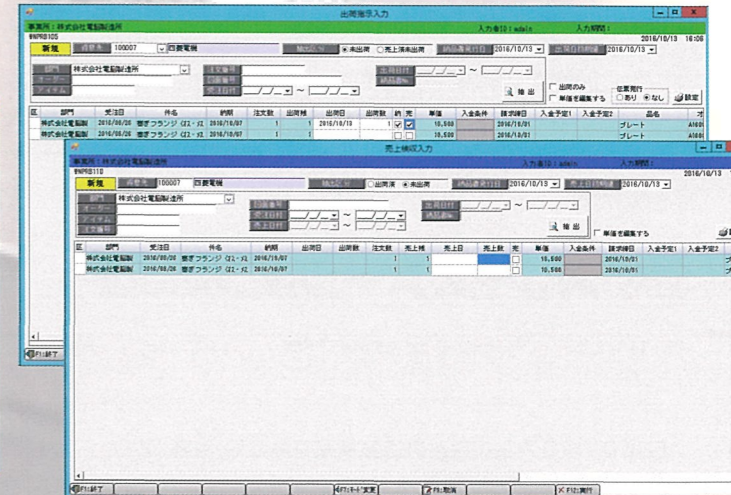
- 機械毎、作業員毎の負荷の照会機能。
- 高負荷の山崩し機能を搭載。

発注予定



- 発注予定の一覧から選択して発注処理。
- 発注書はお客様独自で作成したEXCELに出力可能。

出荷指示



- 納品売上、検収売上処理に対応。
- 先行売上処理に対応。